

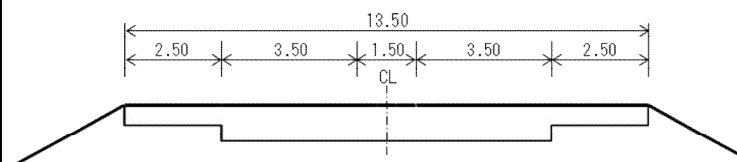
一般国道238号 紋別防雪

国道238号は、網走市を起点とし、稚内市に至る延長約320kmの幹線道路です。このうち「紋別防雪」は、オホーツク圏と道北圏を結ぶ路線の地吹雪による視程障害、交通事故の低減及び危険箇所の解消を図り、道路の安全な通行の確保を目的とした、延長15.0kmの防災対策事業です。

位置図



定規図



計画の概要

- ①起点 ……北海道紋別郡湧別町字川西
- 終点 ……北海道紋別市小向
- ②計画延長……15.0km
- ③幅員 ……13.5m
- ④構造規格……3種2級
- ⑤設計速度……60km/h
- ⑥車線 ……2車線
- ⑦事業主体……北海道開発局

経緯

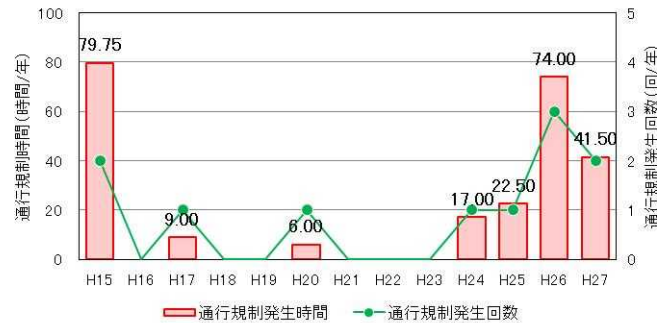
平成20年度 事業化

一般国道238号 紋別防雪

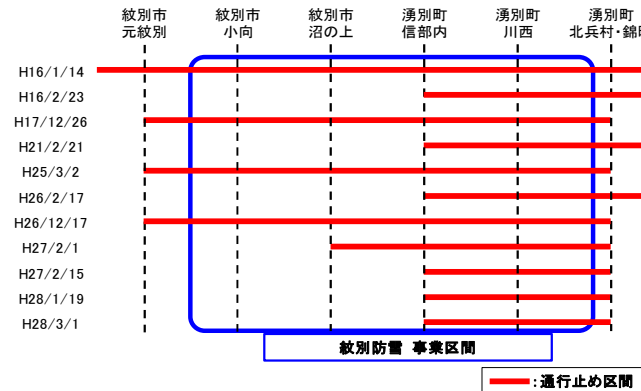
現道の課題（地吹雪）

- ・紋別防雪の事業区間には、「地吹雪」による防災点検要対策箇所が5箇所存在
- ・平成15年度～27年度において、冬季の視程障害（吹雪）による通行止めが約280時間発生。
- ・当該道路の整備により、防災上の要対策箇所が解消され、道路交通の確実性及び安全性の向上が期待。

【「地吹雪」により通行規制の経年推移】



【「地吹雪」により通行規制の発生区間(H15～27年度)】



地吹雪による視程障害(小向地区:H25.3.2)

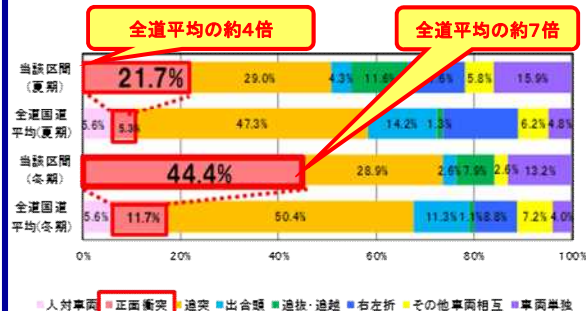


地吹雪で動けなくなった大型車(沼の上地区:H16.1.19)

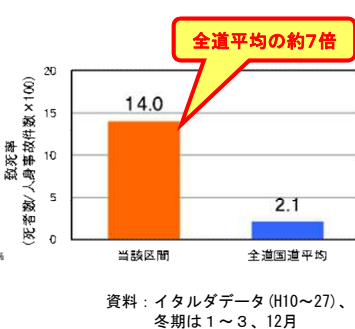
水産品の流通利便性向上

- ・紋別防雪の事業区間では、致死率の高い正面衝突事故の割合が高く、全道国道平均と比較し、夏期で4倍、冬期で7倍。また、致死率も約14.0人/100件と全道国道の平均7倍
- ・当該道路の整備により、致死率の高い正面衝突事故の低減が見込まれ、道路交通の安全性向上に期待。

【事故累計(H10～H27)】

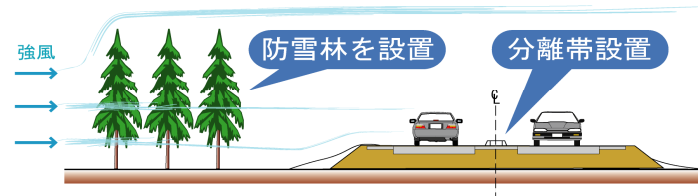


【致死率(H10～H27)】



対策内容

- ・防雪対策として防雪林等を設置
- ・正面衝突事故防止のため、中央分離帯を整備



防雪林整備



中央分離帯(防護柵)